7月園だより

２０１５年度　年主題〈『平和』をつくる〉

0･1･2歳児７月主題　「たのしい」

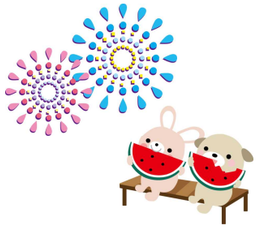
月のねがい

◎家族や保育者とゆったり過ごす
◎暑さや感染症から守られながら健康な夏の生活を送る
◎夏の自然にふれ、様々な活動を楽しむ
◎保育者と共に祈る

3･4･5歳児７月主題　「やってみる」

月のねがい

◎暑さに留意し、夏の生活を送る
◎自然現象や防災に関心を持つ
◎夏の自然にふれ、様々な活動に取り組む
◎友だちと共に好きな遊びをたっぷり楽しむ



今月の聖句「平和をつくるものは、さいわいです。」　マタイ5:9

平和を願わない人はいない

私は幼少の時、日本がアメリカ･イギリス･フランス･オランダ･中国を敵に回し、戦争した時に育ちました。実に無謀な戦争でした。出征軍人はその戦場で弾薬不足･食料不足の中に無残に死んでいきました。昭和２０年ともなると、日本のいたるところで空襲を受け、多くの非戦闘員が焼死または爆死しました。また、私は長崎で原爆にも会いました。大きな火の玉が空いっぱいに広がり逃げることの限界を知りました。幸い一命をとりとめ、今日に至っております。「命をいただいた」のだと感謝しています。だから、誰よりも大きな声で「戦争はだめ」「平和を作ろう」と叫んでいます。

平和は他人に求めるのではなく、自分が作り、自分が平和を実感するもの

平和は互いに他者と協力しなければならないことは勿論ですが、これが難しい。他者が納得して同調すればの話ですが。最終的には自分個人の決断の問題ではないでしょうか。自分がまず、平和を実践する者となる。もっと言えば、権利を主張せず、進んで損をする勇気を持つことです。自分の利益･自国の国益を優先させると平和は絶対築けません。自分が損をする、自分が傷つく、自分が死ぬほどの覚悟さえ定まれば、戦争は起きないでしょう。「失う者はそれを得、得ようとする者はそれを失う」のです。「負けるが勝ち」ともいわれます。幼な子たちに、この真理を学んでもらいたいものです。神仏に帰依すれば心が平安になり、自分自身のうちにまず平和が築かれます。

前理事長　池田公榮

７月の行事予定

４日（土）	夏祭り・弁当日（2.3 号）
７日（火）	七夕事業所訪問
11・12 日	お泊まり保育（年長児）
１４日(火)	７月誕生会
１５日(水)	プール遊び・弁当日
１７日(金)	１学期終園式(1号:午前保育)

８月の行事予定

３日（月）	夏期保育（稲刈り）
２１日（金）	夏期保育(そうめん流し)
２２日（土）	おやぢ保育

プールあそび

お泊まり保育

夏まつり

2つの積み木タワー

梅雨に入り、毎日雨･雨･雨…。てるてる坊主を作って、早く晴れになったらいいのになぁとお願いしている子どもたちです。お外には行けないけれど、広い体育館のお陰でサーキット遊びやボール遊び、つなひき…とたくさん体を動かして遊んでいます。

最近では、赤ちゃんたちも体育館デビュー！ハイハイや伝い歩きをして遊び始めました。1歳児さんはいろんなおもちゃやボールに目をキラキラさせて探索活動を楽しんでいます。

そんなある日、お友だち5人で積み木を高く積み上げて遊んでいました。そこへ、1歳児さんが近づいて行ってしまい、先生が慌てて止めに入ったのですが間に合わず…ガラガラガッシャーンと積み木のタワーが壊れてしまいました。怒るかな？と心配していたのですが「あ～あ…せっかく作ったのに～。」「もう一回作ろっか！」と再び作り始めました。今度はタワーを2つ作ると「こっちは壊していいよ。」とお友だち。そして、もう一つのタワーをさっきよりも高く積み上げることができました。小さいお友だちがいることで、遊びの邪魔をされてしまうこともありますが、工夫をして遊んだり、「かわいいねぇ」と優しくしてくれる子どもたちに感謝です。

4月は、登園後のカバンの片付けにもひと時間かかっていました。最近では、一人でできるところまで頑張ったり、紙おむつから午前中はパンツで過ごせるようになったりと、はっきり成長を感じています。

夏祭りにプール遊び、年長さんはお泊まり保育と7月も行事がたくさんです。残りわずかの1学期も楽しく過ごしましょうね！　大河

絵本の会

歯科検診

今年は夏が待ち遠しい！

今年の梅雨は記録的な大雨で、前半の行事は殆ど室内で実施となりました。今のところ大きな被害はないようですが、エルニーニョの年は梅雨明けも遅くなり、土砂災害も起きやすいそうで、まだまだ要注意です。しかし、植物や作物には大いなる恵みとなり、飲料のための水瓶には十分に蓄えられたでしょう。後は、一日も早い梅雨明けを願うばかり…。

さて、我々職員にとっての七月から八月にかけては研修の時期でもあります。中でも、県内の私立幼稚園の教職員が千人規模で参加する教職員研修大会は大きなものです。今年の熊毛担当の分科会テーマは、「自園の特色や方針を活かす保育や行事」です。今年は本園が発表を担当することになりました。自園の特色や方針を活かした保育とは？という基本的な確認を改めて行うことは大きな意義があります。幼児期にふさわしい生活とは？、ふさわしい環境とは？ふさわしい学びとは？…。いつも探求し続けなければならない宿題です。今回は、自然環境を活かした活動や屋外遊具の活用を改めて見直すよい機会と捉えました。子どもの健全な心身の育ちを考えると、発達の土台であるからだの使い方を理解することはとても大切なことです。幼児期に高さや回転、平衡や逆さなどの「感覚運動」をしっかりとさせることは、次の段階の運動的なからだの動かし方に繋がっていきます。また、戸外で全身を使ってあそぶことは、身体機能が自然に育つだけでなく、いろんなことに興味･関心が湧き、自立的な行動に結びつくのだと思います。ですから、今の時期に特定のスポーツにだけ集中させるというのは、もったいないですね。海や川、山や野原で走り回り、カニや小魚やカブトムシを追いかける。人生の基礎となるこの時期を、家族や友だちと種子島で過ごす子どもたち…なんて素晴らしい時間を与えられたことか。どうぞ宝物のような瞬間を皆さんで楽しんでください。

いよいよ週末はめいろう恒例の夏祭りです。ただただ好天を願うばかりですが、雨であっても子どもたちにとって忘れられない思い出となることでしょう。子どもたちのために今できることを、皆さんが共に整えてくださることに心から感謝いたします。

毎日、汗や汚れで洗濯にご苦労をお掛けします。手足口病が流行り始めているようです。「早寝･早起き･朝ごはん」プラス「あさウンチ」で健康管理のご協力を宜しくお願いいたします。

園　長

―　愛情ホルモン「オキシトシン」―

山口　創　著

男の子はオキシトシンが出にくい？

オキシトシンの出方には男の子と女の子で違いがあります。じつは女の子はオキシトシンが出やすく、男の子は出にくいのです。

女の子はちょっと触れるだけでオキシトシンが出てくるのですが、男の子のほうは、たくさんスキンシップをしないとオキシトシンの分泌があまり増えません。

それには理由があります。違いが生じるのは男の子と女の子それぞれに大人と同じように、特有の性ホルモンが備わっているためです。

女性（女の子）に多い女性ホルモンのエストロゲンはオキシトシンの効果を倍増してくれます。加えて、オキシトシンは出産・育児と深く関わる物質であることから、もともと女性の体はオキシトシンが出やすい仕組みになっています。

一方、男性（男の子）に多く分泌される男性ホルモンであるテストステロンは、オキシトシンのはたらきを抑制してしまいます。そのため男性はオキシトシンが出にくく分泌量も少ないのです。男の子のほうにべったりと甘えてくる甘えん坊が多いのは、少ないオキシトシンを増やそうとしているのかもしれませんね。ですから、「男の子なのに、こんなに甘えん坊で将来大丈夫だろうか」という心配は無用です。むしろ男の子ほど、小さいときはたくさん抱っこしたり、ベタベタ触れあって甘えさせるほうがよいのです。「男の子だから」ということであまり甘えさせてあげないと、心が満たされず、かえっていつまでも親離れができなくなってしまいます。

もちろん、だからといって女の子はスキンシップが少なくても大丈夫ということではありません。女の子であっても男の子であっても、たくさん触れることを大切にしてほしいと思います。その上で、男の子には触れあう回数を少し意識して増やしてあげるとよいでしょう。

親子に嬉しいオキシトシンの５つの効果

①親子の愛着関係を深める
②ストレスに強くなる
③セレトニンを活性化させ心のﾊﾞﾗﾝｽを安定的に保つ
④記憶力が良くなり学習効果が高まる
⑤体の成長をうながす。